

# かわにし

## 市議会だより No.245

令和6年  
2024年  
5月

川西市議会  
ホームページ



<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

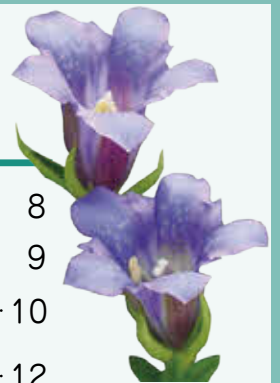


ビッグハープと桜 (小戸3丁目)

### 3月定例会号

#### もくじ

令和6年度各会計予算案など審議	2	特別会計	8
常任委員会報告		公営企業会計	9
総務生活常任委員会	3	審議結果等一覧・賛否の状況	10
厚生文教常任委員会	4	総括質問	12
建設常任委員会	5	一般質問	15
予算委員会報告		委員会視察報告	19
一般会計	6		



市花りんどう

# 令和6年度各会計予算案など審議

令和6年第1回定例市議会は、2月15日から3月25日までの40日間の会期で開催されました。

今期定例市議会では、令和6年度一般会計のほか、国民健康保険事業などの特別会計4会計、水道事業などの公営企業会計3会計の新年度予算案が提出されました。

市長は、施政方針演説において、新年度予算案について、新規・拡充事業実施のための一般財源の半分を子ども、教育施策に充て、「まず、子ども」の幸せから始める」という総合計画の基本姿勢を念頭に編成をしていると述べています。

このような方針のもと編成された予算案や施政方針に対し、6会派の代表が「総括質問」を行い、市長の考え方や今後の市政運営のあり方をたずねました（12から14面参照）。

なお、各会計予算案は、一般会計予算審査特別委員会および特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会において、新規・拡充施策に関連する予算を中心に、詳細かつ慎重な審査を加えて

います（一般会計6・7面、特別会計・公営企業会計8・9面参照）。

また、今期定例会においては、第9期介護保険事業計画の策定に伴う介護保険料率の改定等を内容とする介護保険条例の改正案も提出されており、審査の過程では、保険料率の上昇を抑制する観点から、介護保険給付費準備基金の取り崩しに関する市の考え方が問われました。

このほか、川西市手数料条例や、川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の改正案などについても、慎重に審議した上でいずれも原案のとおり可決しています（3から5面参照）。

さらに、定例会最終日には、議員個人による請負の状況の透明性を確保するため、「川西市議会議員の請負の状況の公表に関する条例」が委員会提出議案として提出され、全会一致で可決しています。

また、一般質問を2日間にわたって行い、11人の議員が登壇して、市政全般にわたり、活気に満ちた議論が繰り広げられました（15から18面参照）。

## 議会の活動状況

### 2月

- 7日○総務生活常任委員協議会
- 8日○議会運営委員・常任委員長合同会議
- 議会運営委員会
- 厚生文教常任委員協議会
- 15日○第1回市議会定例会(招集日)
- 総務生活常任委員協議会
- 20日○議会運営委員会
- 総務生活常任委員会

- 22日○第1回市議会定例会(第2日)
- 26日○第1回市議会定例会(第3日)
- 27日○第1回市議会定例会(第4日)
- 28日○第1回市議会定例会(第5日)
- 29日○総務生活常任委員会

### 3月

- 1日○厚生文教常任委員会
- 4日○建設常任委員会
- 市立病院改革調査特別委員会

- 5日○一般会計予算審査特別委員会
- 6日○一般会計予算審査特別委員会
- 7日○一般会計予算審査特別委員会
- 8日○特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会

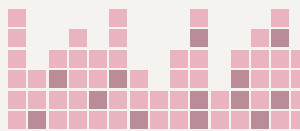
- 11日○特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会
- 13日○議員協議会
- 総務生活常任委員協議会
- 議会運営委員会

- 25日○第1回市議会定例会(最終日)
- 議員協議会
- 議会運営委員会
- 27日○総務生活常任委員協議会

### 4月

- 1日○総務生活常任委員会
- 厚生文教常任委員会
- 建設常任委員会
- 11日○議会運営委員会
- 26日○広報委員会

# 常任委員会報告



## 総務生活常任委員会

### 委員

(委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎田中 麻未 ○平岡 謙  
 岡田龍太郎 角田 慎司 福西 勝  
 秋田 修一 中井 成郷 吉岡 健次

### 川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、戸籍法の一部を改正する法律等の制定に伴い、戸籍謄本等の広域交付に係る手数料等を定めるため、条例の一部を改正しようとするものである。

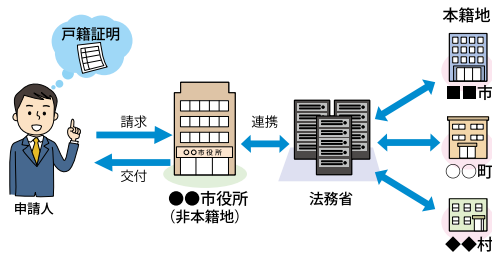
**質問** 戸籍(除籍)電子証明書提供用識別符号の発行は、オンラインによる行政手続きに関するものであるが、デジタル機器に不慣れた住民への支援について伺いたい。

**答弁** 戸籍(除籍)電子証明書提供用識別符号の提示で行政手続きが可能となるのは、令和6年度末以降となる見込みで、運用開始に併せて必要な周知方策等を検討していく考えである。

反対意見 戸籍電子証明書等の提供は、全ての人が等しく使えるものではなく、災害時にはデジタルシステムの脆弱性も危惧され、行政がデジタル化に傾倒することには不安を覚えるため、マイナンバーカードの強化と一体になって進めようとする内容を含む本案には反対する。

### 反対意見

戸籍電子証明書等の提供は、全ての人が等しく使えるものではなく、災害時にはデジタルシステムの脆弱性も危惧され、行政がデジタル化に傾倒することには不安を覚えるため、マイナンバーカードの強化と一体になって進めようとする内容を含む本案には反対する。



### 川西市公告式条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、条例等の公布の方法を見直しホームページ上で公布を行うため、条例の一部を改正しようとする

ものである。

**質問** ホームページでの閲覧が困難な市民もいることから、紙で公布する方法も残すべきと考え、市の認識を伺いたい。

**答弁** これまで条例等の公布を紙で行ってきたが、掲示内容に関する問い合わせは約10年間ない状況で、窓口等で依頼があった場合には該当の内容を掲示する想定をしているものの、原則、ホームページ上での公布とする考えである。

**答弁** 従前より条例改正等により施策を実施する場合には、公布だけではなく、地域住民との意見交換等を行い丁寧に事業を進めており、今後も市民に必要な内容が伝わらないことのないよう、こうした取り組みを継続していきたい。

### 反対意見

市民の誰もがインターネットを使用できる環境ではなく、条例等を紙で公布する方法も併せて行うべきであり、本条例は施行日が4月1日と間近であることから、経過措置の期間を設けるべきであると考え、本案には反対の立場である。

川西市社会体育施設条例及び川西市キセラ川西プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、川西市市民温水プール駐車場および川西市キセラ川西プラザ駐車場の使用料の額を周辺駐車場と同程度に見直すため、条例の一部を改正しようとするものである。

**質問** キセラ川西プラザ内には公民館等の施設が設置されており、長時間施設を利用される方もいるが、駐車場使用料を引き上げる判断に至った経緯を伺いたい。

**答弁** 駐車場の利用実態として、施設利用者が駐車できない状況もあることや、駐車場の運営には機材の維持管理等の費用がかかることから、駐車場使用料を周辺駐車場と同程度の水準に見直すことで、これら課題の解決を図る考えである。

**反対意見** 当該駐車場の施設利用者の駐車場料金の減免は入庫後3時間までとされており、それを超える利用者には負担増となる。また、コロナ禍が明け、利用者の回復が見込まれるタイミングでの駐車場料金引き上げには疑問があるため、本案には反対の立場である。

**賛成意見** 今回の駐車場使用料の引き上げで、周辺駐車場との料金の均衡が図られることにより、キセラ川西地区における活動が、一層活性化することに期待し、本案に賛成する。

# 厚生文教常任委員会

委員 (委員長) ○ ○ (副委員長) ○ ○

◎岡 留美 ○加茂 文子  
 松隈 紀文 長田 拓也 榮 奈津子  
 大崎 淳正 黒田 美智 内山 裕介

## 川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、第9期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料率等を改正する必要があるため、条例の一部を改正しようとするものである。

### 質問

介護保険給付費準備基金に  
 ついて、第9期介護保険事業  
 計画の計画期間だけではなく、第10  
 期以降の保険料の上昇幅がおおむね  
 一定となるよう令和5年度末の基金  
 残高見込み額の2分の1相当額を取  
 り崩す予定と説明があったが、近  
 年、基金残高が10億円を超える状態  
 で推移しており、保険料を納付して  
 いる人に還元する観点から、例えば  
 3分の2を取り崩すなどの議論はな  
 かったのか伺いたい。

### 答弁

基金については、第9期介  
 護保険事業計画において、第  
 8期の際には設定していた留保額を  
 設定することなく、令和5年度末残  
 高の2分の1相当額を取り崩すこと  
 としており、保険料の上昇を極力抑

制するために前期より踏み込んだ考  
 え方としている。

**反対意見** 介護保険制度について  
 は、十分に負担能力に応じた保険料  
 の設定となっていないことなど、抜  
 本的な改革が必要と考える。物価上  
 昇が続く中で、保険料を13・1%も  
 引き上げようとする本案について  
 は、反対の立場である。

**川西市立幼稚園の設置及び管理に関  
 する条例の一部を改正する条例の制  
 定について**

本案は、清和台幼稚園を廃止する  
 ため、条例の一部を改正しようとする  
 ものである。

### 質問

本市において幼稚園を廃止  
 する際には、条例を改正し、  
 住民にも告知をして経過措置を取っ  
 た上で行ってきたが、清和台幼稚園  
 の廃止に関しては、従前と異なる対  
 応が取られたと認識していることか  
 ら、本案の提案に至るまでの経緯に  
 ついて市の認識を伺いたい。

### 答弁

幼児教育保育の無償化を  
 契機として、令和4年度に  
 施設のあり方を検討する予定であっ  
 たところ、4年度の入園予定者が1  
 名となったことから、廃止を前倒し  
 で検討することとなり、入園予定の  
 保護者等に不安や混乱を生じさせた

と認識している。しかし、市として  
 は、子どもにとって最善の教育保育  
 環境を可能な限り早急に実現すべき  
 という一貫した考えのもとで、その  
 時々の最善の方策を検討し提案して  
 きたものと考えている。

**反対意見** 幼稚園を廃止するに際し  
 ては、条例の改正を議会に諮った上  
 で行なうべきで、今回はこうした手  
 続きを経ることなく子どもの入園が  
 減少しているという実態を優先させ  
 ている。市はその時々の方策を  
 検討してきたとしているが、条例  
 改正を後回しにしてよいということ  
 にはならず、住んでいる地域で民  
 間、公立も含めた選択肢を確保する  
 ことが保護者と子どもたちに最善の  
 教育保育を保障することと考え反対  
 する。

**賛成意見** 本案の提案に至るまで  
 に、非常に長いプロセスがあったこ  
 とは理解するが、市民に現状を伝え  
 ると、園の廃止により生まれる財源  
 を有効に活用することが期待できる  
 ことから、廃止を望む市民が多数と  
 なることを考える。さまざま意見があ  
 り、対応には苦慮することと思っ  
 が、大多数の市民の理解が得られる  
 ような説明の仕方を検討するよう要  
 望する。

## 川西市付属機関に関する条例の一部 を改正する条例の制定について

本案は、川西市立学校のあり方審  
 議会を設置するため、条例の一部を  
 改正しようとするものである。

### 質問

当該審議会について、設置  
 の目的、構成委員および今後  
 のスケジュールを伺いたい。

### 答弁

この審議会は、少子化の  
 進展や学校施設の老朽化等  
 の環境下でも、子どもたちの学びを  
 保障し質の高い教育を実現するため  
 に、本市に望ましい学級規模や学校  
 規模等を検討するために設置するも  
 ので、委員構成は、学識経験者や学  
 校長、保護者等を想定しており、令  
 和6年度中に一定の方針・方向性を  
 示したいと考えている。



# 建設常任委員会

委員 (委員長) 〇〇 (副委員長) 〇〇

◎大矢根秀明 〇川北 将  
加藤 仁哉 斯波 康晴 山崎 孝弘  
西山 博大 坂口 美佳 北野 紀子

## 川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律等の制定に伴い、手数料を新たに定める必要があるため、条例の一部を改正しようとするものである。

**質問** 本案は、現在、接道義務や道路内建築制限の既存不適格となつている建築物について、大規模修繕となる省エネ改修等を行う際に、現行基準の適用により省エネ改修等自体が困難となる場合に、安全上等に支障がないと認められるときは、現行規定を適用しないことで、省エネ改修等の導入促進の妨げとならないようにするものと認識しているが、市として期待する効果を伺いたい。また、こうした認定を行うことにより、新たなトラブルが起こる懸念はないのか伺いたい。

### 答弁

現在窓口において、接道義務や道路内建築制限の免除がないことを理由に省エネ改修等ができないという相談はほとんどない状況であることから、その効果は不透明である。また、認定によるトラブル等に対しては、今後作成を予定している認定基準について、国や近隣市の動向等も踏まえ、適正なものとしていきたい。

## 川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、マンションの管理の適正化の推進に関する法律に基づくマンション管理計画の認定手続きに係る手数料を定めるため、条例の一部を改正しようとするものである。

### 質問

国から示されている審査・事務手続きに要する時間を踏まえて新規・更新申請の審査・事務手数料を4千円に設定しているが、近隣市では、申請に係る手数料を制度が定着するまでの一定期間、無料とする事例があると認識していることから、本市においても手数料の無料化を検討したのか伺いたい。

### 答弁

手数料の考え方について、認定事務は実費弁償の性格を有することから、基本的には手数料が必要と考えている。近隣市におい

ては、分譲マンションに関する課題の適正化を推進するため、手数料を一定期間無料とする事例があることは認識しているが、本市においては、阪神間で分譲マンションが最も少なく、アンケートや現地調査により問題があるマンションはないと判断していることから、審査手数料の無料期間を設ける必要はないと考えている。

## 川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、川西市公共施設等総合管理計画審議会を設置するため、条例の一部を改正しようとするものである。

### 質問

公共施設等総合管理計画を新たに設置しようとする川西市公共施設等総合管理計画審議会に関して、その構成等の詳細および当該計画改定に係るスケジュールを伺いたい。

### 答弁

当該審議会については、現時点では、学識経験者と市民の5名程度で構成し、約5回の開催を想定している。また、当該計画改定のスケジュールについては、令和6年6月ごろに審議会を立ち上げ、検討を重ねた上で年内に計画の素案を確定し、令和7年1月から3月に

かけてパブリックコメントを経て改定する予定である。

## 令和5年度川西市一般会計補正予算(第11回)

### 質問

道路改良事業において、御社橋幅整備事業で事業進捗の遅れにより負担金、補助及び交付金を6923万7千円減額しようとしている点について、詳細を伺いたい。

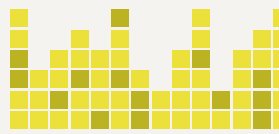
### 答弁

同事業進捗の遅れについては、用地交渉において、税務署協議が長引いたことや、物件の移転、除去に一定の期間を要したことによるもので、全体の工程の中で十分収まる範囲内であり、安全を見て次年度へ予定を遅らせるものである。



御社橋

# 予算委員会報告



## 一般会計（歳入）

**質問** 市民税について、賃上げ等の影響もあり増収が見込まれると考えるが、前年度との比較をどのように分析しているのか伺いたい。

**答弁** 個人市民税に関しては、所得の増加の影響で増額を見込んでいるが、定額減税の影響で歳入予算としては前年度に比べ減額となっている。また、法人市民税については、法人の経営状況の回復から増額を見込んでいる。なお、均等割については、大きな開発等もないことから前年度と同程度で見込んでいる。

**質問** 先導的官民連携支援事業費補助金として1959万1千円を令和6年度から新たに計上している点について、詳細を伺いたい。

**答弁** 当該補助金は、地方公共団体が先導的な官民連携事業の導入検討を行う際に必要となる調査委託費について、国から2千万円を

上限として助成されるもので、本市の課題である土木施設の今後の維持管理体制に関して、民間企業の技術力やノウハウの活用の可能性について調査を行うおうとするものである。

**質問** ひょうご不登校対策プロジェクト補助金で、校内サポートルーム支援員の配置に要する費用の財源となる577万5千円を計上しているが、詳細を伺いたい。

**答弁** 当該補助金は1日当たり42分の1の費用が補助されるもので、対象は、市内の全7校の中学校に加え、全16校ある小学校のうち4校となっている。なお、校内サポートルームの支援員については、令和5年度は小中学校でそれぞれ1日当たり4時間の配置をしていたが、6年度より中学校についてはフルタイムの配置へ拡充する予定となっている。

## 一般会計（歳出）

**質問** 企業版ふるさと納税を活用し、アステ川西内の広場を官民協働で新たなコミュニティパークにリニューアルすることだが、維持管理面を含めた詳細を伺いたい。また、この企業版ふるさと納税の寄附目的や、寄附を行う法人に対し、その代償として経済的な利益を供与することに当たらないのか、市の見解を伺いたい。

**答弁** 企業版ふるさと納税に関しては、令和5年度の3月補正で、歳入の寄附金に1億円を計上しており、6年度の当初予算では、寄附金を活用してアステ川西内の広場を新たなコミュニティパークにリニューアルしようとするものである。また、整備後の同パークは市の所有となるが、その維持管理の方法については、円滑な運用と適切な保守管理が可能となるよう今後検討を加えていきたい。なお、この企業版

ふるさとづくり寄附金はコミュニティパークの整備を目的としているが、寄附金を活用して実施する整備事業は、特定の企業に対して利益を供与するものではなく、市の活性化を目的として行うものである。

- ◆一般会計予算審査特別委員会
- ◎北野 紀子 ○山崎 孝弘
  - 松隈 紀文 加藤 仁哉 加茂 文子
  - 平岡 謙 内山 裕介 福西 勝
  - 西山 博大 中井 成郷 田中 麻未
  - 吉岡 健次

- ◆特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会
- ◎坂口 美佳 ○岡 留美
  - 岡田龍太郎 長田 拓也 斯波 康晴
  - 榮 奈津子 大崎 淳正 大矢根秀明
  - 黒田 美智 角田 慎司 川北 将
  - 秋田 修一

委員長=◎  
副委員長=○



コミュニティパークイメージ図

**質問** 居場所機能を持った相談支援の実施において、対象者は

どのような方を想定しているのか。  
また、多機能な地域共生型の居場所  
の「多機能な」とは、どのようなこ  
とを想定しているのか伺いたい。

**答弁**

この相談支援の対象者は、  
ひきこもり家庭の方や出産直  
後で孤立状態にある方、不登校状態  
にある方など幅広い世代となること  
を想定していることから、さまざま  
な相談者に応じた支援が可能となる  
ように多機能な地域共生型の居場所  
となると考えており、子育て相談や  
就労相談などそれぞれに応じた支援  
ができ、市や社会福祉協議会では対  
応しにくい制度対応以前の相談支援  
を担える場所としていきたい。

**質問**

350万円が計上されてい  
る家庭系・事業系ごみ有料化  
検討支援業務委託料の詳細について  
伺いたい。また、市民への説明につ  
いてはどのように進めていくのか併  
せて伺いたい。

**答弁**

この支援業務については、  
市民に対して本市の現状と課  
題について正しく把握していただく  
よう説明した後に、市民の考える課  
題や思いを聴取して、それを解決す  
るための市の考え方を示していくこ  
とを想定しており、現在策定中の一  
般廃棄物処理基本計画の作成支援業  
務の受託業者が、本市のごみについ

て一定把握していることから委託先  
として検討しているところである。  
また、具体的な説明方法等につい  
ては検討中ではあるが、14地域で説明  
し幅広く市民の意見を聴取すること  
を想定している。

**質問**

本市では、令和6年4月か  
らJR北伊丹駅を除く自転車  
駐車場の有料化を予定していること  
から、有料化に伴う料金設定の考え  
方を伺いたい。また、収容可能台数  
や他の公共交通への影響について市  
の見解を伺いたい。

**答弁**

有料化に伴う料金設定につ  
いては、駅からの距離等にか  
かわらず一律に設定する予定である  
が、利用率などに応じて事業者と協  
議をしていきたいと考えている。ま  
た、収容可能台数に関して、現状は  
自転車約7500台、バイク等が  
約3700台で、有料化に伴う区画  
整理等によりその台数は若干減少す  
るものの、おおむね現在の収容可能  
台数をカバーできるようにしてい  
きたい。なお、他の公共交通への影響  
については、自転車駐車場の利用料  
金やバスの運賃などに対する考え  
方はさまざまであることから、具体的  
に見込むことは困難と考えている。

**質問**

中央図書館では、令和5年  
度にICタグを活用した自動

貸出機等が導入されるなど、効率的  
な運営を進めていると認識している  
が、開館日数や時間の拡充を検討す  
る予定はあるか伺いたい。

**答弁**

ICタグを活用した機器  
の導入により、例年10日ほ  
どの期間を要していた蔵書点検作業  
が3日程度で完了できる見込みが  
立ったことから、6年度においては  
開館日数が7日間ほど増えると思込  
んでいる。



中央図書館の自動貸出機

**反対意見**

公共施設の再配置を優先  
して進める市政運営のもと、就学前  
教育保育施設のあり方をはじめ、さ  
まざまな行政サービスの質の担保に

係る疑念を払拭することができな  
かったため、本予算案には反対する。  
**反対意見** 地方自治法において、市  
役所の役割が「住民の福祉の増進を  
図ることを基本として、地域におけ  
る行政を自主的かつ総合的に実施す  
る」となっているにもかかわらず、  
市民が物価高騰に苦しむ中、給食費  
の値上げや自転車駐車場の有料化実  
施、ごみの有料化への取り組みと  
いった内容を含む本予算案には反対  
する。

**賛成意見**

令和6年度も、引き続き  
住宅都市としての価値を生かしなが  
ら日常で感じる幸せ、心地よさを大  
切にしたまちづくりを期待する。本  
予算案は、総合計画の基本姿勢を念  
頭に子どもに係る施策に重点的に予  
算配分がなされているが、これまで  
川西市を支えてきた方々が心豊かに  
過ごせるような施策にも配慮いただ  
くよう要望し、本予算案に賛成する。  
**賛成意見** 今まで本市の発展を支え  
てきた廃止された公共施設の解体等  
の関連予算が散見されることから、  
それらの施設がどのように生まれ変  
わるのか、楽しみにしており、子ど  
もたちが伸び伸びと体を動かして遊  
んで過ごせる場所が整備されること  
を要望し、本予算案に賛成する。

**【委員会の審査結果…可決】**

# 特別会計

## 国民健康保険事業

**質問** 基金の繰り入れによって令和9年度に県内の保険税水準が統一されるまでの間、保険税率を据え置く選択をしたことは理解するものの、国民健康保険税が前年度比で3億2910万8千円の減収となっていることから、減収が本会計の事業に与える影響などを伺いたい。

**答弁** 本事業では、被保険者数の減少に伴う保険税収入の減額により、基金を繰り入れなければ保険税率の改定が必要な状況であったと考えている。また、保健事業への影響については、被保険者数の減少に伴い費用も減少することから、直接的な影響はないと認識している。

**賛成意見** 現行の健康保険証の廃止については、本市議会でのその存続を求める意見書を国へ提出しており、市としても健康保険証の存続について、国へ声を上げることを要望し、本予算案には賛成する。

【委員会の審査結果：可決】

## 後期高齢者医療事業

**質問** 本会計では、保険料率等の改定、賦課限度額の引き上げ、出産育児支援金の導入といった制度改正を予定しているが、これらが本市に及ぼす影響について伺いたい。

**答弁** 今回の制度改正においては、所得割率改定による影響は、対象者の所得等が判明するまで算出できないが、均等割額に関しては、低所得者軽減対象の拡大により、軽減なしから2割軽減に移行する被保険者が約90人、2割軽減から5割軽減に移行する被保険者が約200人と見込んでいる。

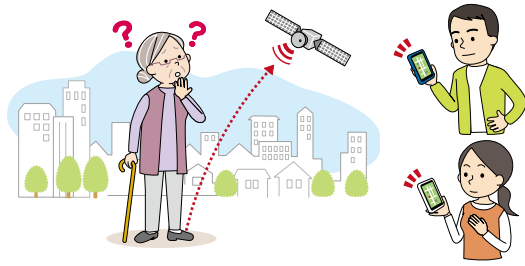
また、賦課限度額の引き上げについては、その対象者が460人、影響額は約3100万円と見込み、出産育児支援金の導入については、兵庫県下における数値にはなるが、1人当たり保険料が平均で637円上昇することを見込んでいる。

【委員会の審査結果：可決】

## 介護保険事業

**質問** 認知症まもり登録者に対する靴GPS利用に係る業務委託料として175万8千円が計上されているが、詳細を伺いたい。

**答弁** 当該事業は、認知症による徘徊で行方不明となる方が多いことから、GPS機器を埋め込める靴を給付するもので、認知症まもり登録者のうち車のライトなどに反射する靴用ステッカーの利用者数などを踏まえ、予算を計上している。



**反対意見** 今期定例会では、介護保険料率の引き上げを内容とする条例改正案が提出されており、約3億8千万円にも及び保険料の改定が予定されていることから、本予算案については反対する。

**賛成意見** 介護保険制度は、介護事業者が介護度を下げる努力をするほど報酬が低くなる構造的な矛盾を抱えており、今後も厳しい状況が続くが、介護に関わる方が潰れることのない制度の維持に尽力することを要望し本案に賛成する。

**委員会の審査結果：可決**

## 用地先行取得事業

**質問** 土地開発公社保有地を取得するため、公有財産購入費として1億270万円を計上している点について、取得予定の土地の詳細を伺いたい。また、本特別会計が土地開発公社健全化の推進等を目的としている点を踏まえ、これまでの総括と今後について伺いたい。

**答弁** 令和6年度は、矢間2丁目および錦松台の土地を買い戻すための費用を計上しており、その後売却する予定である。

また、第1次土地開発公社経営健全化対策の策定以降、公社の健全化に取り組んできた結果、当時、簿価で約200億円あった公社が保有する土地を約10分の1まで減らしており、6年度においても買い戻しを予定するなど、今後も健全化に向け取り組みを進めていきたい。

【委員会の審査結果：可決】



# 公営企業会計

## 水道事業

**質問** 萩原台配水池更新工事に係る費用が計上されているが、

その詳細について、本市配水池の耐震化率への影響も含めて伺いたい。



萩原台2号配水池（工事前）

5池ある配水池を2池に統廃合しようとするもので、全体としての工期短縮や建設費の削減、維持管理面の効率化を目標に、管路整備を含め12年度の完成を目指すものである。

**答弁**

この統廃合により、配水池の耐震化率は向上すると見込んでいますが、現在休止中の坂の上配水池をはじめ、耐震性能のない配水池も残存していることから、今後も計画的に耐震化を進めていきたい。  
**賛成意見** ライフラインの確保には国の責任があると考えるため、その予算に関して、水道料金に消費税をかけないことも含め、国に要望することを求め、本予算案に賛成する。

【委員会の審査結果：可決】

## 下水道事業

**質問**

雨水貯留タンクについて、設置費補助金として150万円が計上されているが、本年1月に発生した能登半島地震を受け、水の重要性を再認識したことから、一層の普及が必要と考える。そこで、現在の助成状況の詳細や当該補助に係

る今後の方向性を伺いたい。

**答弁**

雨水貯留タンクの設置費助成は、平成25年度の制度創設以来、令和5年度までの実績は399件で約70トンの貯水量となっている。本年度予算案では50件の費用を計上しており、今後も当該制度を継続していく考えである。

**賛成意見**

本会計では、いまだ92億円を上回る企業債の未償還残高があり、水道事業会計と同様に大きな仕組みとして変わっていく必要があると考えている。また、能登半島地震の被災地支援に尽力されていることに感謝を申し上げる。阪神・淡路大震災や今回の被災地で得た経験を今後に生かすことを願い、本案に賛成する。

【委員会の審査結果：可決】

## 病院事業

**質問**

市立総合医療センター医療機器の計画的更新に要する費用を1億円計上している点について、令和7年度以降の予定を伺いたい。また、予算書第10条の重要な資産の取得として、超音波診断装置および生体情報モニタリングシステムのみが記載されているが、他の医療器械を更新する予定はないか伺いたい。

**答弁**

第10条では価格が2千万円超の医療器械のみを記載しており、6年度では、そのほかに血液培養分析装置を1台、超音波診断装置を数台購入する予定である。

**答弁**

総合医療センターの開院および協立病院の医療機器の一部を移転しており、当該機器の更新のため今後約5年間は毎年1億円程度の企業債借入れを行なう考えである。それ以降も、順次、機器を更新する必要がことから、指定管理者と協議の上で方針を検討していきたい。

**賛成意見**

市立総合医療センターの市民の安心安全を守る役割について、市はバックアップをしなければならぬと考えており、指定管理となったことで専門的な分野の評価ができなくなることを懸念している。市民からは総合医療センターの運営に関するさまざまな意見も寄せられていることから、市として公立病院の運営を評価できる人材の育成をしていくことや、指定管理者に対してもマンパワーの確保などの意見をしていくことを要望し、本案に賛成する。

【委員会の審査結果：可決】

**答弁**

当該工事は令和6年度および7年度の2カ年工事として萩原台2号配水池を更新するもので、これに伴い、多田院配水池、萩原台3号配水池、上大原配水池の3池を廃止することで、総容量1万800立方メートルから6千立方メートルへ縮小するとともに、現在

# 審議結果等一覧

## 第1回川西市議会(定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第1号	専決報告について 専決第4号 令和5年度川西市一般会計補正予算(第9回)	新型コロナウイルスワクチン接種に係る被接種者死亡事案について、当該接種による健康被害が認定されたことに伴い、医療費、医療手当、死亡一時金および葬祭料を支給するための費用の補正	承認 (全員賛成)	-
報告第2号	専決報告について 専決第1号 令和5年度川西市一般会計補正予算(第10回)	物価高による影響が長期化する中で、住民税均等割のみ課税世帯や低所得の子育て世帯に対して物価高騰重点支援給付金を支給するための費用の補正	//	-
同意案第1号	副市長の選任について	副市長の任期満了に伴い、松木茂弘氏を選任する	同意 (全員賛成)	-
同意案第2号	教育委員会教育長の選任について	教育委員会教育長の任期満了に伴い、石田剛氏を選任する	同意 (賛成多数)	-
同意案第3号	監査委員の選任について	監査委員の任期満了に伴い、向山愛子氏を選任する	同意 (全員賛成)	-
同意案第4号	監査委員の選任について	監査委員の任期満了に伴い、石田有司氏を選任する	//	-
議案第1号	令和6年度川西市一般会計予算	歳入歳出予算総額633億4900万円(64億9800万円増、対前年度11.4%増)	原案可決 (賛成多数)	一般会計 予算特委
議案第2号	令和6年度川西市国民健康保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額138億4170万9000円(6億5158万6000円減、対前年度4.5%減)	原案可決 (全員賛成)	特別・公企 会計予算特委
議案第3号	令和6年度川西市後期高齢者医療事業特別会計予算	歳入歳出予算総額39億1790万7000円(2億1653万2000円増、対前年度5.9%増)	原案可決 (賛成多数)	//
議案第4号	令和6年度川西市介護保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額163億3903万3000円(11億6907万1000円増、対前年度7.7%増)	//	//
議案第5号	令和6年度川西市用地先行取得事業特別会計予算	歳入歳出予算総額9億791万5000円(2億9030万6000円減、対前年度24.2%減)	原案可決 (全員賛成)	//
議案第6号	令和6年度川西市水道事業会計予算	支出総額43億2267万5000円(1億6370万5000円減、対前年度3.6%減)	//	//
議案第7号	令和6年度川西市下水道事業会計予算	支出総額54億2507万円(3億3409万6000円減、対前年度5.8%減)	//	//
議案第8号	令和6年度川西市病院事業会計予算	支出総額40億2390万9000円(9億5711万4000円増、対前年度31.2%増)	//	//
議案第9号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	戸籍法の一部改正により戸籍証明書等の広域交付や戸籍電子証明書提供用識別符号等の発行が可能となることに伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されたため、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	総務生活
議案第10号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び兵庫県市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する協議について	兵庫県市町村職員退職手当組合の組織から「丹波少年自然の家事務組合」を削除し、監査委員の任期を「3年」から「4年」に変更する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第11号	川西市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の制定に伴い、所要の文言を整理するため、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	//
議案第12号	川西市公告式条例の一部を改正する条例の制定について	条例および規則等の公布方法を、市役所および各行政センターの掲示板に紙で掲示する方法から、市ホームページ上に電子で掲示する方法に見直し、市民の利便性の向上および事務の効率化を図るため、条例の一部を改正する	//	//
議案第13号	川西市職員公務災害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について	障害見舞金を支給するに当たり、所要の文言の整理を行うため、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第14号	川西市社会体育施設条例及び川西市キセラ川西プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民温水プール駐車場およびキセラ川西プラザ駐車場の使用料の額を周辺駐車場と同程度に見直すため、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	//
議案第15号	川西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の制定に伴い、非常勤消防団員等が公務により損害補償を受ける状態となった場合に支給される損害補償の補償基礎額を改めるため、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第16号	川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令の制定に伴い、危険物の製造所等の設置許可に係る手数料の改定を行うため、条例の一部を改正する	//	//
議案第17号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	介護報酬の改定により、指定居宅介護支援事業所が介護予防支援の指定を受けることが可能となることに伴い、条例の一部を改正する	//	厚生文教
議案第18号	川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	第9期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料率等を改正するため、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	//
議案第19号	川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	川西市立清和幼稚園を閉園する	//	//
議案第20号	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	川西市立学校のあり方審議会を設置する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第21号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律等の制定に伴い、手数料を改定するため、条例の一部を改正する	//	建設

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
議案第22号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	マンションの管理の適正化の推進に関する法律に基づくマンション管理計画の認定手続きに係る手数料を定めるため、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	建設
議案第23号	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	川西市公共施設等総合管理計画審議会を設置する	//	//
議案第24号	川西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の制定により、水道整備・管理行政(水質または衛生に関する水道行政を除く)の所管が厚生労働省から国土交通省へ変更されたことに伴い、条例の一部を改正する	//	//
議案第25号	令和5年度川西市一般会計補正予算(第11回)	民間保育施設等への物価高騰に対する一時支援金の支給に係る費用のほか、留守家庭児童育成クラブにおけるICT環境整備に要する費用などの補正	//	総務生活 厚生文教 建設
議案第26号	令和5年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	保険税収入の減額に伴う基金繰入金の増額、および一般被保険者療養給付費の増額、ならびに令和4年度国・県交付金精算に伴う返還金の増額に伴う補正	//	厚生文教
議案第27号	令和5年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回)	後期高齢者医療広域連合への納付金の減額に伴う補正	//	//
議案第28号	令和5年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第3回)	介護給付費の増額とそれに伴う国・県負担金および給付費準備基金繰入金等の増額などの補正	//	//
議案第29号	令和5年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算(第1回)	用地購入費および市債の減額、基金積立金の増額による補正	//	建設
議案第30号	令和5年度川西市水道事業会計補正予算(第2回)	業務の予定量の補正、電気・ガス価格激変緩和対策に伴う電力費の減額などに伴う収益的収入および支出の補正、けやき坂・清和台配水区域水道基幹施設再構築耐震化事業における継続費最終年度の事業費確定により、精算額が継続費の設定額と比較して減額となったことに伴う他会計出資金の減額などに伴う補正、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正、他会計からの補助金の補正	//	//
議案第31号	令和5年度川西市下水道事業会計補正予算(第2回)	業務の予定量の補正、雨水処理負担金の減額などによる収益的収入および支出の補正、社会資本整備総合交付金の減額に伴う国庫補助金の減額などによる資本的収入および支出の補正、他会計からの補助金の補正、利益剰余金の処分の補正	//	//
議案第32号	令和5年度川西市病院事業会計補正予算(第1回)	一般会計補助金の減額などによる収益的収入および支出の補正、他会計長期借入金償還金の増額による資本的収入および支出の補正	//	厚生文教
請願第1号	おくやみコーナー設置に関する請願	市おくやみコーナーでのサービス内容を、年金相談を含むワンストップ窓口として充実させること、およびパートナーの死亡で生活困窮となる家族への相談支援を市おくやみコーナーで同時に行うことを求める	不採択 (賛成少数)	総務生活
請願第2号	物価上昇に見合う高齢基礎年金の改善を求める請願書	国に対し、物価上昇に見合う高齢基礎年金の改善を求める意見書を提出するよう求める	//	厚生文教
選挙第1号	兵庫県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙について	兵庫県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙をする	選挙 (投票)	-
委員会提出議案第1号	川西市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	市議会議員の請負の状況の公表に関し必要な事項を定めるため、条例を制定する	原案可決 (全員賛成)	-

# 賛否の状況

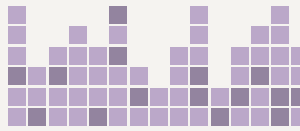
※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

議員名	公明党				川西まほろば会					連合かわにし市民の会			日本維新の会 川西市議団			日本共産党 議員団			市民 ファースト かわにし		無所属				
	大矢根秀明	山崎孝弘	榮奈津子	大崎淳正	平岡譲	秋田修一	松隈紀文	岡田龍太郎	加藤仁哉	西山博大	福西勝	川北将	中井成郷	岡留美	坂口美佳	内山裕介	角田楨司	田中麻未	黒田美智	吉岡健次		北野紀子	斯波康晴	加茂文子	長田拓也
第1回 定例会	同意案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願第1号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	請願第2号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

\*地方自治法の規定により、大崎淳正議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

# 総括質問



※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

## 公明党

質問者…大矢根 秀明

人口減少社会における  
本市の目指す都市像は



**質問** 我が国の出生率が低下し、少子化が進行する中で、本市においても、今後は、他市からの転入を促すだけでなく、本市に在住している多様な市民が、本市に住んでよかった、住み続けたいと思えるようなまちづくりが重要となると考える。

そこで、今後30年の人口減少社会において、本市が目指す都市像の詳細について伺いたい。

## 答弁

全国の出生数の状況や、本市の人口構造等を考慮すると、今後、人口の減少は避けられないものと考えており、こうした中で、現在と同じ規模の行政サービスや公共施設、インフラ等を維持することは困難であることから、全体量

を持続可能な範囲に抑制し、集約しながら質を高めることが重要と考えている。

具体的な取り組みとしては、令和4年度に完成した市立総合医療センターにおいて、二つの病院を集約して急性期病床を削減したが、結果として、市内の救急応需率が向上するなど、医療の質、および市民福祉の向上につながったと考えている。

また、幼稚園および保育所を統合し、認定こども園を整備することや、街路樹の総量を管理可能な本数に減少させることについても、全体を持続可能な範囲に抑制し、集約しながら質を高めていく取り組みの事例と考えている。

しかしながら、これらについては、総量の抑制や集約化そのものが目的ということではなく、あくまでも第6次総合計画で掲げるめざす都市像「心地よさ 息づくまち 川西」を実現していくための取り組みであると考えている。

## その他の質問項目

○アフターコロナの社会情勢 ほか  
会派所属議員

山崎孝弘 榮 奈津子 大崎淳正  
平岡 讓 大矢根秀明



## 川西まほろば会

質問者…秋田 修一

受益者負担の見直し  
市民活動への影響ただす



**質問** 市は、令和6年度の予算編成において、既存事業や受益者負担の見直しにより、対前年度比で約1億1千万円の財源を生み出すとしている。

物価高騰で市民生活が厳しさを増す中、市ではさまざまな支援策が講

じられているが、その一方で、こうした受益者負担の見直しにより、市民の負担を増やすことは、市民活動の停滞を招くことにならないのか、市の見解を伺いたい。

## 答弁

本市において多様な市民活動が行われていることについては、市として非常に大きな財産と考えている。しかし、行政サービスの利用者から、その受益の範囲内で負担をいただくことも重要なことと考えており、市民活動を継続的にサポートするには、施設の維持管理等を持続的に行う必要があることから、利用する人と利用しない人との均衡を考慮し、公平性を確保した上で、適切な受益者負担をいただくことに取り組んでいきたいと考えている。

一方で、コミュニティ活動や市民活動団体が行う公益的な事業については、施設利用料等の減免などの基準を設けていることや、公共施設の利用料が比較的安価であることを踏まえると、利用料の値上げにより市民活動が大きく停滞するということとは想定していないが、市民負担が増加することには変わりはないため、しっかりとその説明をしていきたいと考えている。

今後も、受益者負担等の見直しは

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会 検索

進めていく予定であるが、その際においても、制度の持続性の担保といった視点が重要と考えている。

### その他の質問項目

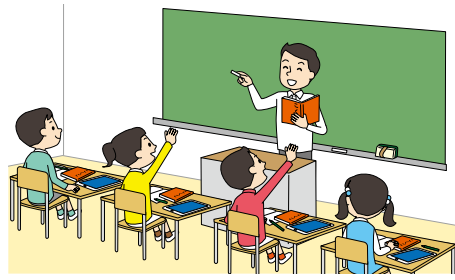
○笑顔つづくミライに向けて ほか  
会派所属議員

松隈紀文 岡田龍太郎 加藤仁哉  
秋田修一 西山博大

## 連合かわにし市民の会

質問者：福西 勝

### 市立学校の今後のあり方 問う



### 質問

本市では、今後も急激な少子化による児童生徒数の減少が見込まれている中で、現在の規模で小中学校の施設を維持していくことについては、本市の財政負担も考慮すると、市立学校のあり方を検討せざるを得ない時期が到来している

### もの考える。

そこで、市内小中学校のあり方について、令和6年度に設置を予定している「川西市立学校のあり方審議会」の詳細を含め、市としての考えを伺いたい。

### 答弁

川西市立学校のあり方審議会については、学識経験者や学校長、保護者など、10名程度の委員構成で、令和6年度に6回程度開催し議論していただくことを予定している。そして、審議会における議論を経た市全体の検討結果を、学校のあり方基本方針として令和7年3月までに示す考えである。

また、児童生徒数の減少については、今後、避けることのできない事象と考えており、審議会においては、さまざまな観点から市立学校のあり方について検討をいただくこととなり、学校の本来の目的は、児童生徒に教育環境を提供することと考えていることから、その点に重点を置いた検討を期待しているところである。

なお、当該審議会の検討については、市全体としての大きな考え方や方針に係るものを中心となると考えているが、各地域においては、それぞれに課題や状況が異なっていると認識している。そのため、当該審議

会での検討後に、地域とは、それぞれの課題等を踏まえた協議をしていく考えである。

### その他の質問項目

○市立小中学校体育館への空調設備の整備について ほか

### 会派所属議員

福西 勝 川北 将 中井成郷  
岡 留美

## 日本維新の会 川西市議団

質問者：坂口 美佳

### 「笑顔つづくミライへ。」に 込めた市の思いは



### 質問

市は、市制施行70周年を迎えるに当たり、30年後の未来を見据えたまちづくりを行うため「笑顔つづくミライへ。」というメッセージを打ち出している。30年後の未来については、不確定で予想が困難であり、また、市長をはじめとする市の幹部職員や議員も代わっていることが予想される。こうしたことから、次世代にその思いを引き継ぐことで、世代が代わっても笑顔が続いていく市政運営となることを期待しているが、このメッセージに込めた市の思いを伺いたい。

### 答弁

第6次総合計画の策定に当たり、無作為抽出の市民

で構成する「かわにし市民会議」や、小学校区単位の「かわにしMeeting」での議論や対話の中で、暮らしのキーワードとして「心地よい」という言葉が多く挙げられたことから、「心地よさ」をまちづくりの中心にするという思いを込め、「心地よさ 息づくまち 川西市」を本市の目指す都市像としている。この「心地よさ」は、特別なことを指しているのではなく、日々の何気ない日常の暮らしの積み重ねであり、日常の幸せが目に見える形となったものが笑顔であると認識している。

そして、かわにし市民会議でも、「子どもの笑顔」がキーワードであったことから、30年後の市制施行100周年を迎える際にも、まちに子どもの笑顔があふれ、いつまでも安心して日々を暮らしていけると市民が実感することができるよう、市制施行70周年のキャッチコピーを「笑顔つづくミライへ。」としたところである。

### その他の質問項目

○アフターコロナの社会情勢について ほか

### 会派所属議員

内山裕介 角田横司 坂口美佳  
田中麻未

## 日本共産党議員団

質問者：黒田 美智

**防災・減災の取り組みを  
早急に強化せよ**



### 質問

29年前に発生した阪神・淡路大震災、本年1月の能登半島地震での被害状況を踏まえ、本市においても、各地域の特性等に応じた対策や、避難所のあり方などについて、改善が必要があると改めて認識したところである。

そこで、南海トラフ地震など、いつ起こるかわからない自然災害に備え、人権を守ることができる避難所や備蓄の考え方など、防災・減災の取り組みを早急に強化すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

### 答弁

阪神・淡路大震災以降、さまざまな自然災害が発生し、本市においても、毎年、地域防災計画を見直し訓練を行うなど有事に備えているが、能登半島地震での甚大な被害状況を受け、改めて初動体制の構築、災害への備えの重要性を認識したところである。

これに関して、市では、被災地へ職員を派遣するなどの対応を行っているが、その中で備蓄物資の調達などの課題も見えたことから、本市の

災害対応についても、地域防災計画の再検証など、より実効性のあるものとなるよう見直す方針である。

また、避難所では、現在、食料や水の備蓄に関する目標数量を達成しており、毛布やトイレ等の備蓄についても、順次進めているとともに、個室確保には至らないものの、感染症対策等のための簡易間仕切りも備蓄している。

今後は、学校の環境整備にあわせ、災害時に避難所となる市内全小中学校の体育館に空調設備を整備する予定であり、今回の震災での事例も参考に、人権に配慮した見直しに取り組んでいきたい。

### その他の質問項目

○市政運営のあり方について ほか  
会派所属議員

黒田美智 吉岡健次 北野紀子

## 市民ファーストかわにし

質問者：斯波 康晴

**住宅都市としての魅力高める  
自治体戦略を**



### 質問

施政方針において、本市の状況を、「豊かな自然と大阪への交通便利性の良さが住宅都市としての魅力を高めた結果、子育て世帯に選ばれる自治体の一つとなって

いる」と評価している点について、本市では、近年、良好な住宅環境を支えてきたインフラの老朽化が進み、地域によっては公共交通の便数が減になるなど、住宅都市としての魅力は、その岐路に立っているものと認識している。

そこで、本市においても、今後は、都市の近郊であるなどの地の利に頼るだけではなく、こうした地理的条件を積極的に生かした自治体戦略を取り入れる必要があると考えるが、市の見解はいかがか。

### 答弁

近年の子育て世帯の社会移動に着目すると、本市では、令和2年から5年の4年間で、ゼロ歳から9歳の子どもと30歳代の転入超過が続いていることから、子育て世帯に選ばれる自治体の一つとなっているものと考えている。

しかしながら、子育て世帯に選ばれる自治体となることについては、結果としてなるものであり、目的ではないと考えており、今後についても、「まずは、子どもの幸せから始める」という総合計画の基本姿勢に基づき、市政運営を行うことによつて、結果的に子育て世帯に選ばれる自治体になっていくものと考えている。

また、本市の地理的条件を生かし

た自治体戦略を取り入れる必要性については、地の利を生かすとともに、子どもの施策や教育の質の充実を図ることによって、新たな価値を加えていきたいと考えている。

### その他の質問項目

○令和6年度の予算編成及び重点施策について ほか

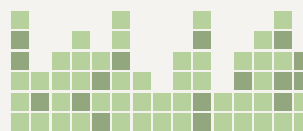
### 会派所属議員

斯波康晴 加茂文子



# 一般質問

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。



## 災害対策

**男女共同参画の視点で  
防災・災害対応を**



市民ファーストかわにし 加茂 文字

**質問** 我が国では、阪神・淡路大震災や東日本大震災など、大きな災害がたびたび発生しているが、これらの教訓にもかかわらず、1月の能登半島地震においても、避難所生活等でさまざまな課題が生じている。こうしたことから、災害対応には女性の視点の反映が求められているものと考え、男女共同参画の視点における本市の防災・災害対応の取り組みについて伺いたい。

## 答弁

地域防災計画を策定する、本市の防災会議の委員については、関係する公的機関や民間事業者から特定の役職者が就任する事例が多く、結果として男性委員の割合が高い状況となっている。この点について、防災計画を作成する際には、地域の自主防災組織を通じて、女性や異なる年齢層の声も反映して

いることから、女性の視点がおろそかになっているとは考えていないが、今後、女性委員の就任について積極的な働きかけを行っていきたい。また、防災担当へ女性職員を配置

することについても重要と認識しており、職員全体に占める女性職員の割合は近年増加していることから、今後、その人事配置についても対応を検討していきたいと考えている。

## その他の質問項目

○本市の就学前教育保育のあり方について  
ほか

## 福祉

**シルバー人材センターへ  
さらなる支援を**



公明党 榮 奈津子

## 質問

シルバー人材センターでは、定年退職などで現役を引退した後も引き続き働くことを希望する高齢者に対して働く場所を紹介しているが、今後は、地域課題の解決につながる先進的な取り組みなど

を行うことも必要と考える。そこで、センターへのさらなる支援のあり方について、市の見解を伺いたい。



シルバー人材センター

## 答弁

高齢化がより一層進展する中で、地域社会の担い手として生きがいを持って活躍する高齢者を増やす必要性は認識しており、そのためには、無理なく働ける仕組みに加え、住み慣れた地域で地域の方々とつながりながら働く実感を持つことが必要と考えている。市としては、そうした就労の仕組みを創出できるよう、同センターも含めた関係機関等と連携しながら、今後も検討していく必要があると考えている。

## 答弁

同センターについては、技術力を必要とする業務等に課

題があると認識していることから、必要な人材確保に尽力いただくとともに、市としても、事業実施に際しては可能な限りセンターを活用するなど、双方の努力により地域課題の解決につながる取り組みとしていきたいと考えている。

## その他の質問項目

○本市の特色ある公園づくりについて

## 保健衛生

**コロナワクチン副反応  
積極的な情報発信を**



無所属 長田 拓也

## 質問

欧州当局は、令和4年10月時点で新型コロナウイルス接種による副反応（不正出血を含む月経異常）を指摘していた。一方、厚生労働省は、この情報を令和5年3月にホームページ上にて「注意すべき誤情報」として取り扱っていたが、同年12月には国民への周知もなく「影響があるとの報告もある」と更新していたことが判明した。市民の安全を守るため、改めて広報誌等で新型コロナウイルスのリスクを周知する考えはないか伺いたい。

## 答弁

ワクチンの副反応について、さまざまな見解があるこ

とは把握しているものの、ワクチン接種に係る市町村の役割としては、接種に係る医療従事者や会場等の確保、住民への接種勧奨、ワクチン接種の手続き等に関する相談対応等であり、ワクチンの確保や接種順位の決定、ワクチンに係る科学的知見の国民への情報提供などは国の役割と認識している。

こうした役割分担を踏まえ、現在のところ、市としては当該経緯のみを取り上げて広報誌等に掲載する考えはなく、引き続き、ホームページ等で国のホームページなどを紹介するといった方法で、国の見解などの情報を提供していく考えである。

### その他の質問項目

○本市の救急車出動について ほか

## 教育

### 国際交流・多文化共生の推進の考え聞く

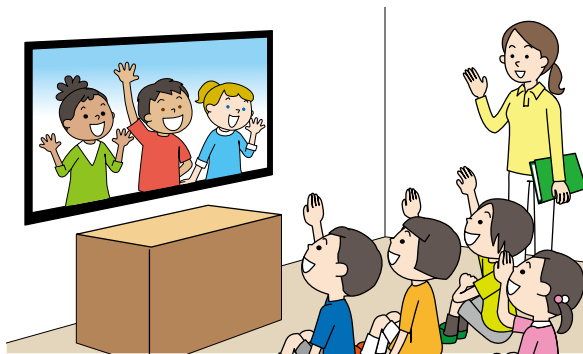


川西まほろぼ会 岡田 龍太郎

### 質問

平成28年の学校教育法改正以来、全国で小中一貫教育制度の導入が広がっている。児童生徒の減少が進む中、本市では、学校規模等を検討する時期が到来していると考え、本市の独自教育施策として、当該一貫教育の導入を検討する考えはないか伺いたい。

また、1月には緑台小学校で台湾の小学校とのオンライン合同授業が実現しているが、保護者等からは継続を希望する声もあることから、こうした国際交流・多文化共生の推進に資する取り組みを市が主体となつて継続する考えはないか伺いたい。



### 答弁

小中一貫教育については、制度化から7年が経過し、さまざまな成果が報告される中で、特に児童生徒の減少が進む地域で評価されていると認識している。市としては、質の高い教育の実現に向けて、どのような環境が望ましいのかといった議論が重要と考えていることから、当該制度導入の必要性も含め、審議会や学校現場等の意見を踏

まえながら、その検討を進めていきたい。

また、国際交流・多文化共生の推進に係るオンライン授業については、学校教育の中でも重要性が高まっていると認識しており、ICT機器の導入も進んでいることから、学校現場や子どもの主体性を大事にしながら、支援を続けていきたい。

## 災害対策

### 避難所における要介護者への対応方策など問う



日本維新の会川西市議団 内山 裕介

### 質問

本年1月に発生した能登半島地震を受け、さまざまな見地から災害対応の課題が議論されているが、本市においても、これを契機として災害への備えを進めるべきと考える。特に、本市では高齢化が進行していることから、自力での避難が困難な要介護者の避難所における対応に課題があると考え、福祉避難所が被災した場合も含め、市の対応方策を伺いたい。

### 答弁

災害時の避難所での要介護者の受け入れについては、福祉避難所への移行を前提に、介護関連事業者の協力も得ながら、各避難者の状態に応じ支援体制を確保していきたいと考えている。また、災害

時には人員不足が生じる懸念があることから、社会福祉協議会と連携し、災害ボランティアセンターを設置して人材を確保することも想定している。

一方、医療と介護の連携については、現状は明確な取り決めがないため、能登半島地震での課題等も踏まえ、今後、関係機関と連携し、その体制の整備を検討していきたい。

### 答弁

災害時において、福祉避難所が被災するなど、要介護者の受け入れの対応ができない状況が生じた場合には、市内事業者をはじめ、他市町や他府県も含め、その避難先を調整する考えである。

## 教育

### 不登校対策にメタバース導入の検討を



公明党 山崎 孝弘

### 質問

インターネット上の仮想空間「\*1メタバース」については、近年、地方自治体で導入している事例もあり、今後、さまざまな行政サービスへの活用が期待されている。

そこで、本市においても、先進的な取り組みとして、メタバース上で不登校児童生徒が気軽に交流できる環境を構築し、その居場所づくりを

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索



支援することで、校内サポートチームや通常の授業の参加につなげることを目指す考えはないか伺いたい。

**答弁** メタバースには、現実の世界ではうまく対応できない児童生徒を取り込むことができる利点があると考えており、議員提案の内容についても、仮想空間から現実の世界へつなげるといった活用には意味があるものと考えているが、一方で、その匿名性の高さによる課題等もあると認識している。

メタバースの活用に関しては、多様な学びの場の提供といった観点からも研究が必要と考えており、県内でも、不登校児童生徒の支援に関する活用事例があることは把握している。ただ、現状ではその活用は非常に少ないと認識していることから、その原因も含めて一つの研究分野として考えていきたい。

### その他の質問項目

○本市における睡眠不足を防止するための取り組みについて ほか

## 災害対策

災害時に孤立する可能性のある集落への対策など聞く



連合かわにし市民の会 川北 将

### 質問

本年1月に発生した能登半島地震では、道路の寸断によ

り孤立集落が発生していることから、市内において災害時等に孤立する可能性のある集落への対策について、市の考えを伺いたい。

また、地域の防災力向上に関して、未来を担う子ども達の防災意識向上に向けた市の考えを伺いたい。



清和台地域で行われた防災訓練

### 答弁

地域防災計画で想定している孤立する可能性がある地区への対策については、通信が途絶えた場合に備え、貸与している衛星携帯電話を使用した訓練を毎年実施しており、また、これらの地区のうち、ヘリコプターの離着陸場所の確保が困難な地区については、今後、

隣接するゴルフ場等への協力要請を検討していく考えである。

また、地域の防災力向上に関しては、昨年に清和台地域と協働で防災訓練を実施しており、消防や警察等と連携し、地域だけでは企画が困難な内容も実施するなど、有意義なものであったと認識している。令和6年度においても、他地域で同様の訓練を計画するなど、今後も、親子での訓練参加や幅広い世代が交流しながら地域の防災力を向上させるような取り組みを継続していく考えである。

### その他の質問項目

○通学路における交通事故防止について

## 福祉

「若年性認知症対策」今後の展望聞く



連合かわにし市民の会 岡 留美

### 質問

若年性認知症については、仕事ができなくなることに伴う経済的問題や家族への影響などのさまざまな課題があり、いち早く社会福祉制度等につなげるためにも、早期発見と早期受診が重要と考える。

また、認知症当事者の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができ

る社会の実現を目指す必要があると考えることから、これらの状況を踏まえた市としての具体的な対策や今後の展望について伺いたい。

**答弁** 若年性認知症の早期発見、早期受診に向けた取り組みとしては、現在のところ受診勧奨にとどまっている状況であるため、医療機関等との連携も含め、早期発見のきっかけとなる取り組みと併せ、相談できる体制の充実を図っていきたいと考えている。

また、市としては、令和6年度から実施する認知症対策アクションプラン策定に際して、若年性認知症当事者や家族の意見等を施策に反映しているとともに、同プランにおいて、当事者やその家族が情報交換や悩み事を相談できる通いの場や、障がい者施策と一体的に行う就労支援等の実施を検討していきたいと考えている。

### その他の質問項目

○特殊詐欺対策について

## 災害対策

被災者の生活環境整備に「スフィア基準」の視点を



日本共産党議員団 北野 紀子

### 質問

能登半島地震が発生した石川県では、今もなお多数の住

民が避難生活を余儀なくされており、避難の長期化から、ストレス等による災害関連死も確認されるなど、改めて被災者の命と健康を守る仕組みや支援の強化が必要と考えている。

そこで、本市においても、避難所を含め、被災者の生活環境を整備する視点に、<sup>\*2</sup>スフィア基準を取り入れることで、避難生活の質の向上を図り、被災者の尊厳ある生活を実現するべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

**答弁** スフィア基準については、内閣府が作成する避難所運営ガイドラインにおいても明記されており、本市においても、公的機関として当該基準を踏まえた対応をすることは重要と考えている。

一方で、今回の能登半島地震の状況に鑑みると、本市が被災時に当該基準を満たすためには、国や県、民間企業も含め、財政面やマンパワーなどのさまざまな支援が必要となることを痛感していることから、その実現に当たっては、こうした点を踏まえ、さまざまな対策を講じていく必要があると改めて認識したところである。

### その他の質問項目

○移動する権利を保障し実現することについて

## 教育

「学校給食費」値上げに至った経緯を聞く



日本共産党議員団 吉岡 健次

### 質問

長引く物価高騰に子育て世帯が苦しみ、国においても異次元の少子化対策で学校給食費の無償化に向けた検討が挙げられ、本年6月までに結論を示すとされている中で、新年度から学校給食費を値上げする案内が保護者に配信されている。そこで、この時期に値上げする判断に至った市の考えを伺いたい。

### 答弁

学校給食費の改定については、令和4年度からの物価高騰の影響により、現行の給食費では食材料費が賸さない状況が続いていることを踏まえ、献立の質を維持するため、教育委員協議会での協議を経て、その影響分に限り改定すると判断したものである。

これに関して、学校給食の食材料費は、学校給食法に基づき、保護者負担を原則としているが、国や市では、これらも含めた物価高騰対策を行っているものと認識している。

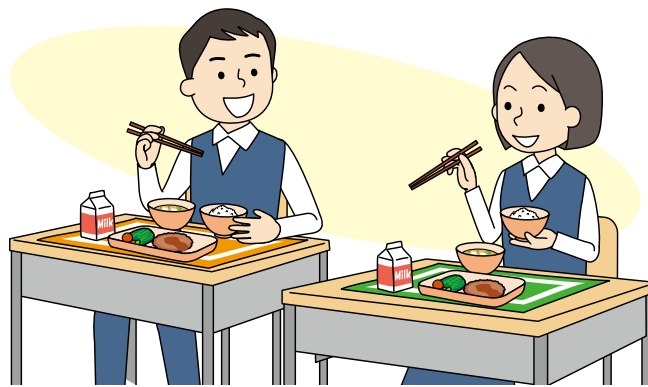
また、学校給食費の無償化については、子育て世帯の経済的な負担軽減につながるかと考える一方で、就学援助制度の対象世帯には既に給食費が支給されていることから、低所得

者の経済的な負担軽減にはつながらないものと考えている。

### その他の質問項目

○市立久代幼稚園と南保育所を廃止し、民間運営の認定こども園を建設する計画を見直すことについて

ほか



## 災害対策

体育館の空調設備を災害時に有効なLPGガス仕様にする



公明党 平岡 謙

### 質問

大規模な災害発生時には、電気やガスなどの生活インフラが途絶える可能性も想定しなければならず、エネルギー供給の断絶によるさまざまな問題も想定される。

そこで、本市で今後予定している、小中学校体育館への空調整備事業において、体育館が災害時の指定避難所である点を踏まえ、個別分散供給エネルギーであり、備蓄が可能で発電燃料としても効力を発揮するLPGガス仕様の空調設備を導入する考えはないか伺いたい。

### 答弁

LPGガスについては、災害時のガス供給遮断時において、都市ガスや電気に比べ早期復旧が可能な非常に有効なエネルギーであると認識している。

小中学校体育館への空調設備の導入については、夏場の暑さ軽減による充実した教育活動確保に加え、避難所機能強化も目的としていることから、災害時にも空調設備の運転が可能であることが重要と考えており、その仕様については、令和6年度に実施する設計業務で課題整理を行い、空調機器仕様ごとにライフサイクルコスト等を比較検証しながら、災害発生時にも有効なものを検討していきたい。

### その他の質問項目

○本市における公園ゴミ箱の撤去について

ほか

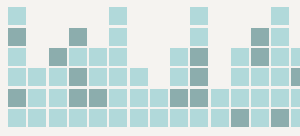
一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索



# 委員会視察報告



## 中心市街地・新名神周辺 整備調査特別委員会

### ● 実施日

令和6年1月18日～1月19日

### ● 視察事項

内閣府

「中心市街地活性化基本計画(2025)」  
愛知県豊田市

「第4期豊田市中心市街地活性化基本  
計画(2025)」

### ● 視察委員

岡田龍太郎 加藤 仁哉 長田 拓也  
平岡 讓 福西 勝 川北 将  
田中 麻末

第3期川西市中心市街地活性化基本計画の計  
画期間は令和2年4月から令和7年3月までと  
なっています。

本市は、まちの結節点でもある阪急川西能勢  
口駅周辺を中心とし、繁栄してきました。

そこで、コロナ禍が収束を迎え、これからの  
本市にとって、中心市街地の活性化は、とても  
重要な課題と考え1月18日に内閣府、1月19日



機会をいただきました。

本市においては、中心市街地「まちの顔」  
ですが、近年においては、人口減少、少子高齢  
化が進んでいることから、大規模商業施設の郊  
外立地で、都市機能の増進や経済活力の向上を  
目指す必要があります。

今回の視察では、内閣府としては、中心市街  
地活性化を必要とする自治体を支援し、計画改  
定に向けて連携を取ると言っていました。

今後、中心市街地の空き家、空き店舗の解消  
に向けて取り組んでいきたいと思えます。

また、豊田市においては、令和5年4月か

に豊田市へ視  
察に行きまし  
た。

まず、内閣  
府では、地方  
創生推進事務  
局が中心市街  
地活性化基本  
計画を所管し  
ていることが  
ら、中心市街  
地活性化制度  
について学ぶ

ら、第4期中心市  
街地活性化基本計  
画が開始され、二  
つの駅を中心に、  
豊田スタジアムを  
含めて、魅力ある  
中心市街地を目指  
そうとされており、  
歩行者が歩き  
たくなるデッキの  
整備が進んでいま  
す。

豊田市では、来  
街者の流れを正確  
に把握すること

や、事業効果や数値を素早く確認するため、平  
成20年3月から、歩行者通行量自動計測装置(パ  
ロッシェ)を中心市街地の18地点に20台設置さ  
れています。従来は、調査費用に年間250万  
円以上がかかっており、そのうち約9割が人件  
費で、費用削減に限界がありました。装置の導  
入により年間を通じた調査が可能となるなど、  
現状把握に力を入れておられます。

今回の視察を通して、本市においても公民連  
携の取り組みが、中心市街地の活力とにぎわい  
の創出に欠かせないと再認識しました。

本市では今年度、第4期中心市街地活性化基  
本計画の策定に向けた作業が進んでいきます。  
引き続き議論を重ねて、中心市街地の活性化が  
市内全域に波及していくまちづくりを目指して  
いきます。

(委員長 福西 勝)



受理した陳情

- 要望書 (重度障がい者児が利用できる施設について等)
- 特定商取引法の抜本的改正を求める意見書に対する意見・要望 (陳情)
- 障害者団体が借り受けている、土地、建物の賃借料及び市税に関する要望書
- キセラ川西プラザ福祉棟の事務所使用に関する要望書
- 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情
- 学校給食費値上げに関する要望書

かわにし市議会からのお知らせ

●一般質問の日は午前9時30分から本会議を始めます

一般質問を予定している日は、午前9時30分開議となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。か、市議会事務局へ直接お問い合わせください。

6月定例会(予定)

6月 5日(水)	午前10時	本会議(招集日)
13日(木)	午前9時30分	本会議(一般質問)
14日(金)	//	本会議( // )
17日(月)	//	本会議( // )
18日(火)	午前10時	常任委員会
19日(水)	//	//
20日(木)	//	//
28日(金)	//	本会議(最終日)

●会議録について

公開している全ての会議は「会議録」として記録していますので、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として市議会事務局や中央図書館、市役所の市政情報コーナーに備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程や会議録だけでなく、議員の政務活動費の状況なども掲載しています。

また、本会議はライブ配信(生中継)を行っているほか、現在、3月定例会の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができ

ますので、ぜひご利用ください。



●川西市議会個人情報の保護に関する条例の運用状況

令和5年度において、川西市議会個人情報の保護に関する条例に係る開示請求はありませんでした。

広報委員会

委員長	川北 孝
副委員長	山崎 紀文
委員	松隈 文子
	加茂 秀明
	大根 文子
	角田 慎司
	岡田 留美
	岡中 健次
	吉岡 健次

市議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。春が駆け足で過ぎていき、まぶしい木々の青さから力強い生命力を感じる季節となりました。さて、3月定例会においては令和6年度の施政方針が示され、それに伴う予算審議が行われました。また、今年度は第6次川西市総合計画や各種計画がスタートするとともに、8月1日には市制70周年を迎えるなど、1年を通してさまざまなイベントが計画されています。市内のそれぞれの地域においても祭りや行事が活発に開催されており、関係する団体や地域の方々に改めて感謝申し上げます。幸せのカタチは人それぞれですが、やはり人とのつながりが大切だと感じています。大きい声より正しい声、正しい声より「声なき声」をどうつかむのかも大切であり、さまざまな声をしっかりと聴きながら、市民の皆さまがそれぞれに何気ない日常に幸せを感じるまちの実現のため、今後議論を重ねてまいります。